SQS-SE-09-0234

取扱説明書

JQA-QM8678
JQA-EM6191
本社・工場
サービス工場

モータ式高圧洗浄機

SAR-1105-3
SAR-0807-3

R01　2013/9

このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

－目次－

安全に使用していただくために ····· B1

重要ラベル ····· D1

各部の名称 ····· D2

仕様 ····· D3

運転準備 ····· D4

噴射ガンの操作方法 ····· D5

運転方法 ····· D6

使用後の取扱い ····· D9

保守・点検について ····· D11

定期点検項目 ····· D13

故障診断 ····· D14

電装関係故障診断 ····· D15

ポンプが固着してモータが動作しない場合 ····· D15

無料修理規定 ····· E1

わからない事や、故障したら ····· E2

スーパーエース高圧洗浄機保証書 ····· E3

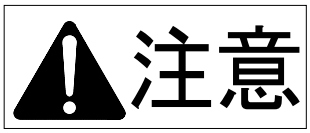
安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。
本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

●本書中で

が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。
注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

●なお、

に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので　必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。
したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものでは、ありません。
本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。
取扱店とよくご相談ください。

⚠危険

- 本機は非常に高い圧力水を発生しますので絶対に人、動物、自分の身体に向けて噴射しないでください。この洗浄機は業務用です。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- 高圧水により、人体が負傷した場合、思わぬ事態になっている事が有りますので、早急に医学的処置を必ず行ってください。
- 噴射ガンを噴射する時に高圧水による反動が有りますので両手でしっかりとガン及びランスを握ってください。
- 高所で作業する場合、足場をしっかりと固定して落下防止対策を行い、安全に作業してください。
- 作業時は安全靴、ヘルメット、防護メガネ、防護服を着用してください。
- 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や設備から１m以上離して使用してください。
- 本機のまわりに引火物を置かないでください。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
- 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- 回転部分のカバー類を取り外したまま絶対に使用しないでください。
- 運転中は回転部分に絶対に近づかないようにしてください。冷却ファン、モーターなどの回転部分に手や身体、衣服などが巻込まれて、けがをするおそれがあります。
- 本機は指定の個所で吊り上げてください。指定以外の個所で吊ると本機の落下につながり大変危険です。
- 本機のすべての部材は高圧力に耐える規格品を使用しておりますので、メーカー純正部品を使用してください。改造は絶対にしないでください。又、本機付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちに当社販売店まで相談してください。

⚠警告

- 過労、病気、薬物の影響のある時、飲酒時、妊娠時は使用しないでください。
- ガン、ランス及び吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- 作業中は、高圧ホースを引っ張らないでください。
- 針金などを使ってガンのレバーを固定するようなことは絶対にしないでください。
- 高層建物でホースを垂直にはわす場合は、万一ホースの接続が外れても、ホースが落下しないように中間でホースを固定してください。

⚠警告

・作業終了後も高圧ホースには非常に高い高圧水を蓄圧しています。不用意にガンを握ったり無理に高圧ホース接続金具を外すと人身事故などにつながりますので必ず残圧を抜いてください。機械の故障（ガンの故障やノズル詰り等）で高圧ホースに非常に高い圧力を蓄圧している場合もありますので無理に接続金具を外さないでください。

⚠注意

- 作業中は、高圧洗浄機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- 清水を使用してください。ゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- 本機使用の推奨温度は 0℃～40℃までです。吸水温度は最高 40℃までです。
- 圧力調整は指定圧力の範囲で調整を行ってください。上げ過ぎ、下げ過ぎ共に本機故障につながりますので注意してください。
- 冬期、凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。0℃以下になる地域では原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。
- 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯等で高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。むりに原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。
- 空運転は絶対にしないでください。通常始動後約 10 秒程度で吸水をします。それ以上(最大１分間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
- 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合な状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機を故障する原因となります。
- 高圧ホースを延長する場合は 60m までにしてください。60m 以上延長する場合は、当社販売店まで相談してください。
- アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

異常がありましたらそのままの状態にして販売店または最寄りの弊社営業所までご相談ください。

・一次側配線は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
・必ずアース線（緑色又は黄/緑）を接地してください。
・アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
・ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
・ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
・本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、高圧水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
・電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切(OFF)にし、さらに元電源を切ってから作業してください。

⚠警告

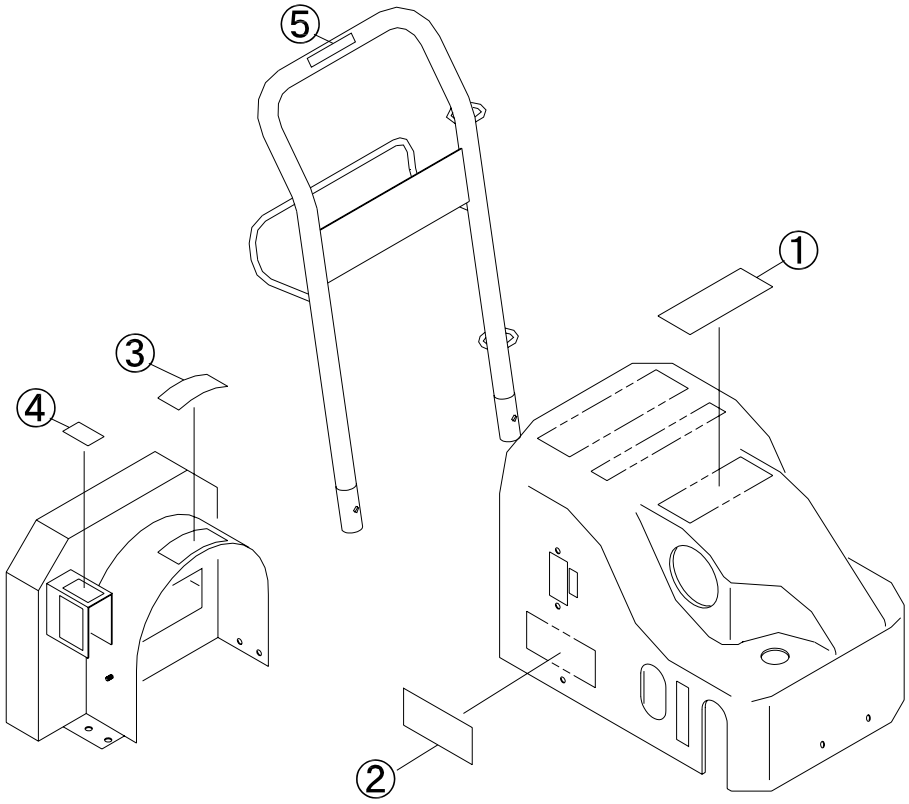
・エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
・昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
・運転中、および停止直後はモータ本体や、周辺が熱くなっていますから、手や肌が触れないようにしてください。
・専用の漏電遮断器を必ず取り付けてください。
・スイッチ、又は電磁開閉器周りのカバーは、外さないでください。外す時は電源を切り、さらに元電源を切ってください。

⚠注意

・運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
・指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。

重要ラベル

・警告表示は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に張り直してください。
・安全銘板の購入は、最寄りの販売店にお申し付けください。

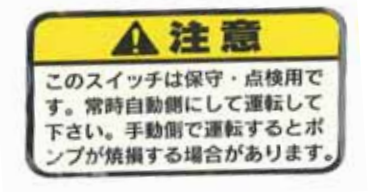


①モータ式洗浄機(04000922)

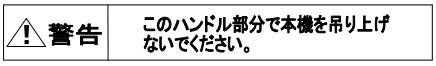
②(04000920)

③危険　ｵｲﾙﾃｯｸは(049432040)

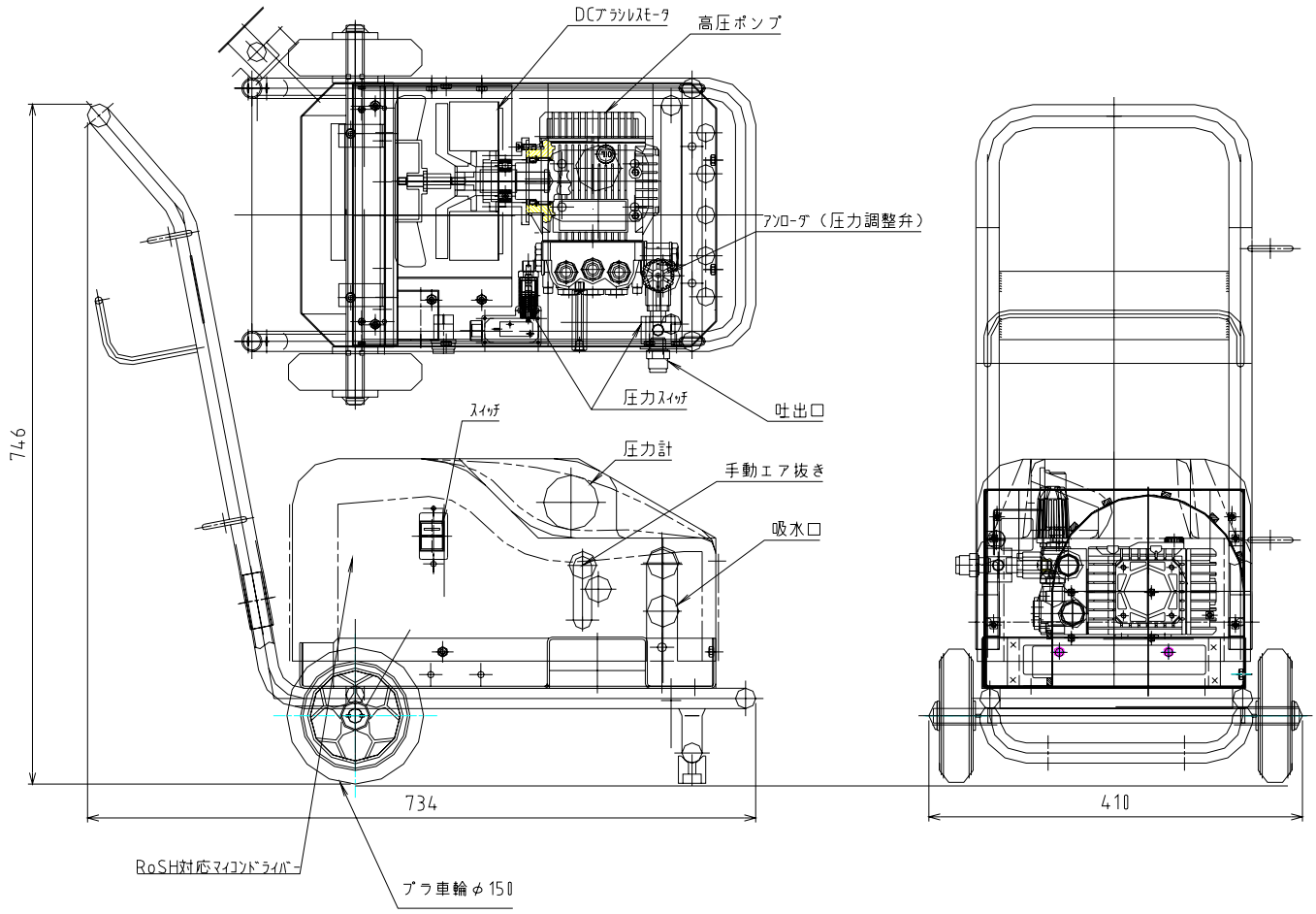
④注意　このｽｲｯﾁは(042943047)

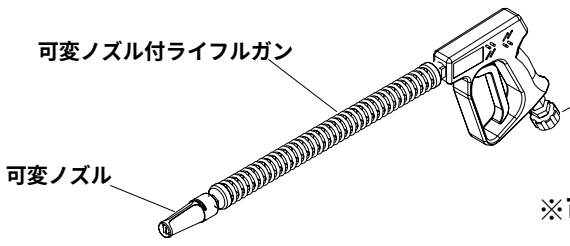


⑤警告　このハンドル部分…(04000881)

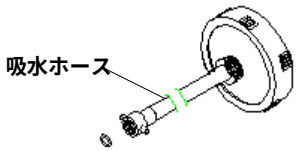


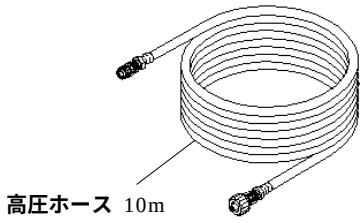
各部の名称





※可変ノズルは直射・扇形の吐出ができます。





仕　　様

SAR-1105-3

電動機	電　　圧	単相 100V
	定 格 電 流	15A
	周　波　数	50-60Hz
	定 格 出 力	1.1kw
	回　転　数	1750min^{-1} (回転/分)
ポンプ	形　　式	3 連プランジャポンプ
	吐　出　圧	4.5MPa(46kgf/cm^2)
	水　　量	11 L/min
	吸 水 温 度	40℃
	最高吸込揚程	1m
機 体 寸 法 (最大寸法)		長さ 565mm×幅 410mm×高さ 356mm (長さ 735mm×幅 410mm×高さ 750mm)
質　　量		29.5kg
標準付属品		・可変ノズル付ライフルガン　1 本 ・高圧ホース(10m) 1 本 ・吸水ホース (3m ｽﾄﾚｰﾅ付) 1 本

SAR-0807-3

電動機	電　　圧	単相 100V
	定 格 電 流	15A
	周　波　数	50-60Hz
	定 格 出 力	1.1kw
	回　転　数	1750min^{-1} (回転/分)
ポンプ	形　　式	3 連プランジャポンプ
	吐　出　圧	7.0MPa(71kgf/cm^2)
	水　　量	8 L/min
	吸 水 温 度	40℃
	最高吸込揚程	1m
機 体 寸 法 (最大寸法)		長さ 565mm×幅 410mm×高さ 356mm (長さ 735mm×幅 410mm×高さ 750mm)
質　　量		29.5kg
標準付属品		・可変ノズル付ライフルガン　1 本 ・高圧ホース(10m) 1 本 ・吸水ホース (3m ｽﾄﾚｰﾅ付) 1 本

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

運転準備

１．標準付属品の確認

・標準付属品が全てそろっているか確認してください。（D3 ページの標準付属品の欄をご参照ください。）

２．潤滑油の確認

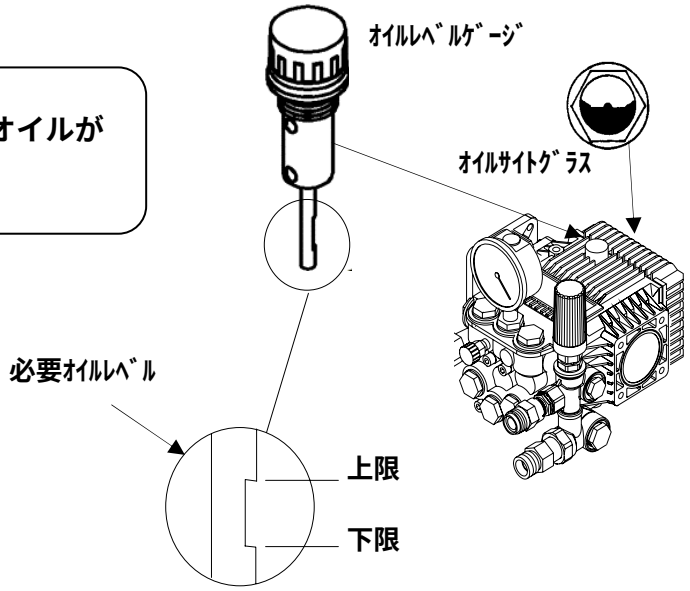
・ポンプのオイルのレベルは日常点検し、カバー点検窓からポンプオイルサイトグラス中央付近にオイルが見えているか、もしくはオイルレベルゲージのレベル内にオイルが正しく入っているか確認してください。減ったらオイルレベルゲージを外してオイルを注ぎ足してください。オイルは市販の自動車用４ストロークエンジンオイル(ＳＡＥ１０W－３０)です。

・オイルは２００時間使用、または９０日ごとに交換してください。オイル交換時はお手持ちのスパナでポンプ下のドレンボルトを取りはずしオイルを抜きとってください。抜きとったあとは、ドレンボルトを確実に取り付けてオイルレベルゲージを外して、オイル(エンジンオイルＳＡＥ１０W－３０)を０．４リットル入れてください。

・オイルが乳白色に白濁している場合は水の混入が考えられます。すぐにお買い求めの販売店または弊社営業所に修理をお申しつけください。

⚠注意

・オイルを入れすぎますと、運転中にオイルがオーバーフローします。



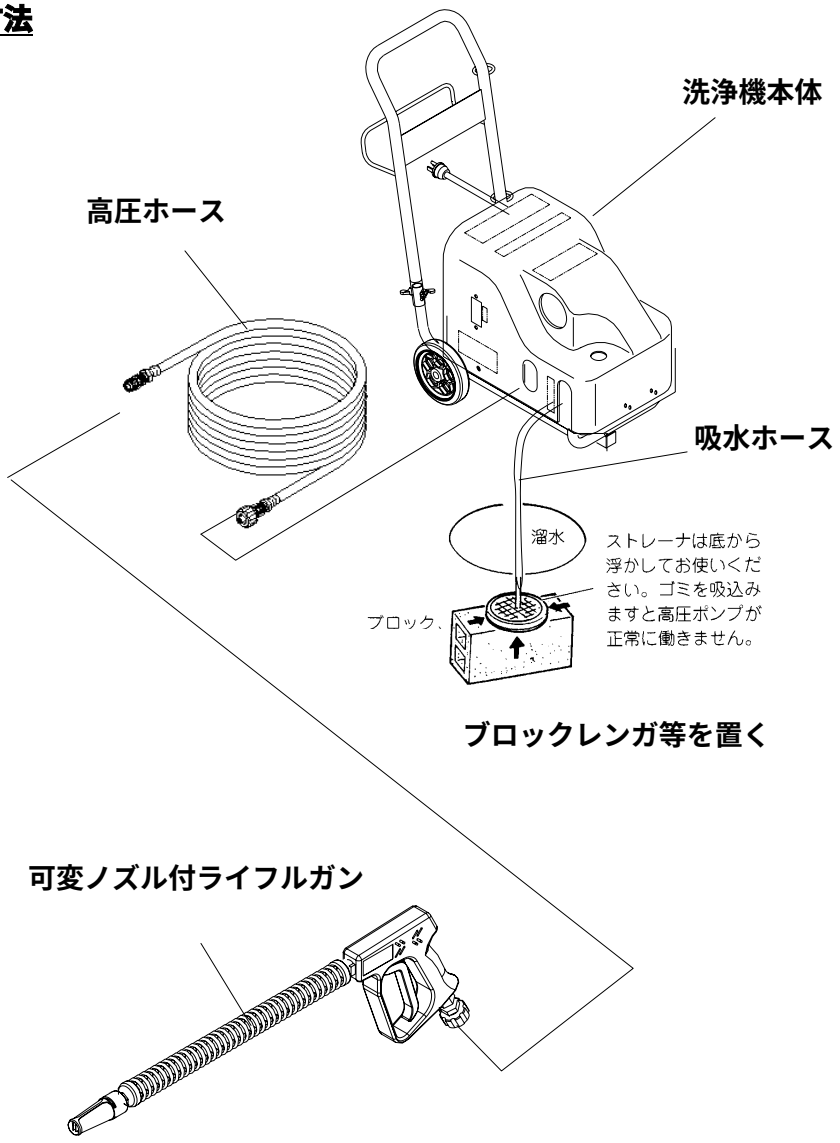
３．設置

⚠警告

・設置する際は、必ず平坦な場所に設置し、車止めをしてください。

運転準備

４．接続方法



※吸水ホースを本機の吸水口に接続してください。その際接続部にOリングが入っていることを確認してください。Oリングが脱落していたり、破損していると空気が混入しポンプが揚水しません。また、吸水ストレーナは完全に水に沈め空気を吸わないようにしてください。

⚠警告

・高圧ホースを本機の吐出口に接続してください。もう片方を可変ノズル付ライフルガンに接続してください。確実に接続しないと高圧水が接続部よりでてきて大変危険ですので注意してください。

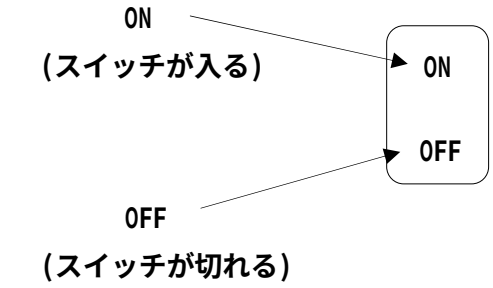
運転方法

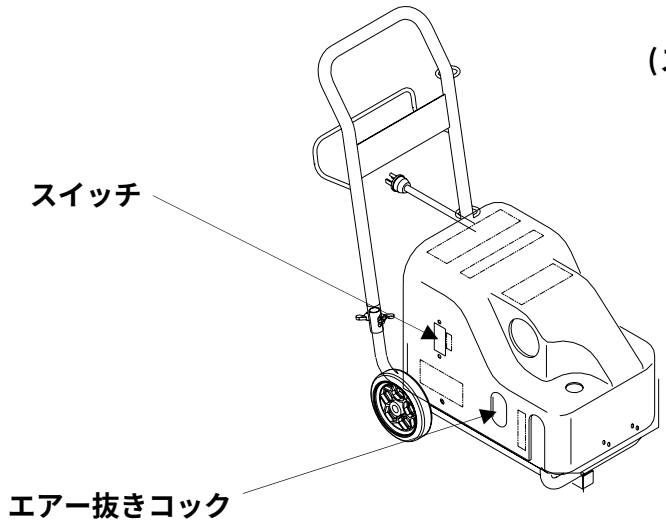
１．運転

・単相１００Ｖ（容量３０Ａ以上）の電源に接続します。

⚠注意

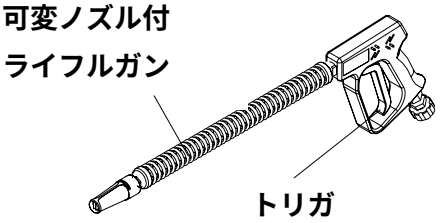
・スイッチボタンをしっかり押して電源を入れてください。





・スイッチを ON にしたらエアー抜きコックを反時計方向に回して開にしてください。このコックより水が出てきてから４～５秒後にコックを時計回りに閉じてエアー抜きを完了してください。

・エアー抜きが完了しましたら、洗浄物にライフルガンを向けトリガを握ってください。その際、高圧水が勢いよく吐出されますので、ライフルガンを両手でしっかり保持してください。

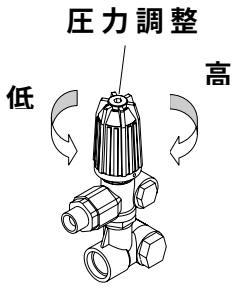


※この洗浄機は自動運転回路が付いています。ライフルガンのトリガーを握るとモータが駆動し高圧水が吐出されます。トリガーを放すとモータが自動停止しポンプのパッキンの寿命を高める機能をもっています。

運転方法

２．圧力調整

・吐出圧の調整は、トリガを握り、噴射させながら圧力調整ノブを用途に応じてセットしてください。



①圧力を上げる―圧力調整ノブを右(時計方向)に回す。
②圧力を下げる―圧力調整ノブを左(反時計方向)に回す。
・吐出圧　1.5MPa～4.5MPa(15kgf/㎠～46kgf/㎠)

⚠注意

・出荷時に圧力調整してありますので、必要以上に圧力を上げたり、下げたりしなでください。

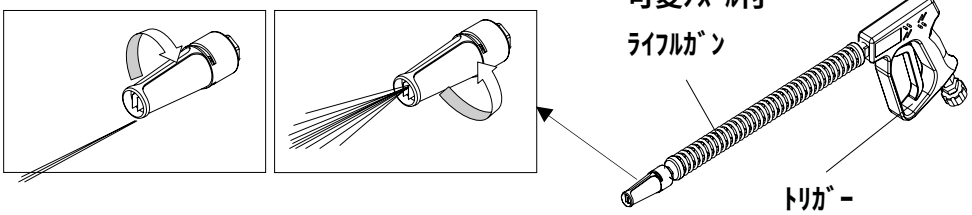
⚠危険

・圧力調整のため、水を噴射させる時は人、動物、自分自身に向けないようにしてください。

３．噴射ガンの操作方法

（１）可変ノズル付ライフルガンの接続について

図 1 直射　　図 2 扇形



・ライフルガンの先端には可変ノズルが付いており、直射(0°)から扇形(80°)の範囲で自由に使用できます。

（２）噴射パターンの切り替え
①ノズルの先端を図 1 の矢印方向に回すと直射となります。
②ノズルの先端を図 2 の矢印方向に回すと扇形となります。

運転方法

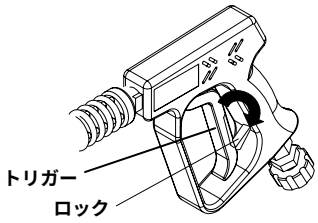
（2）一時中断

①トリガーを放して噴射を停止させてください。

②本機のセレクトスイッチを「切」にしてください。

③トリガーを握り高圧ホース内の残圧を抜いてください。

④危険防止の為、トリガーを安全レバーでロックしてください。



⚠危険

・洗浄作業をする場合は、両手でしっかりとガンを握り、絶対に人や動物、洗浄作業外の物に向けないでください。又高圧水による反動がありますので、足場をしっかり固定し安全に作業してください。

使用後の取扱い

１．作業を終えた時

（１）高圧ポンプ、高圧ホース、ライフルガンの水抜きを必ず行ってください。空運転させて残圧を除去してください。

（２）水抜きは 30 秒程度で終わります。それ以上の空運転は高圧ポンプの故障原因となりますので注意してください。凍結の恐れがある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。重大な故障の原因となります。

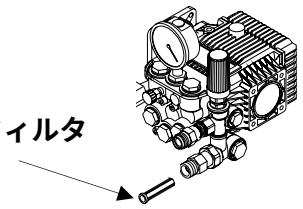
２．ラインフィルタの点検

（１）ポンプ本体の吸水口には、より細かなゴミを取り除くためにラインフィルタを入れておりますので、下記症状のときはラインフィルタを点検してください。

①全く水を吸わないか、または断続的に吸水する場合。

②高圧ホースが異常に脈動する場合。

③圧力が規定圧まで上がらない。または、圧力が安定しない場合。



（２）点検要領

①吸水ホースをはずします

②吸水口のラインフィルタを取出します。(網を破らないように細かい棒で取出します。)

③ラインフィルタに破れ、損傷がある場合は交換。ゴミが付着している場合は取り除いてください。

④長期間（1 ヶ月以上）使用しない場合は、ラインフィルタが水アカで目詰まりしている事があります。充分に清掃してください。清掃が不十分ですと次に

・お使いになったあとは、早目にお手入れを行ってください。お手入れが不充分ですと次にお使いになる時に目づまりをおこし、噴射圧が低下したり故障の原因となります。

・本体および各種付属品は清水を通して洗浄したのち、給水を止め、トリガを引きながらスイッチを入れ、水の噴出がなくなるまで、空運転してください。(水が吐出しなくなったらすぐにスイッチを切ってください。）あとは乾いた布で水気を拭いてください。

・直射日光や雨水を受けない場所に保管してください。

・高圧ホース、付属品などが磨耗、破損、水漏れがないか点検し、異常のある場合は直ちに修理交換してください。

・塩害の恐れのある地域では、防錆液(コスモ　ロングライフクーラント＜防錆剤入り＞相当品)をポンプに吸入させて保管してください。

使用後の取扱い

３．寒冷地での保管

⚠注意

・特に冬期に水が入ったまま放置しておきますと、凍結して故障の原因となります。凍結が予想される場合は不凍液（例：ラジエータ用不凍液 濃度 30～60%）をポンプ内に自吸させてください。

４．電圧感応制御について

・本機は、電源電圧の変化に伴い、モータの回転速度を変化させ最適な状態にしています。これはモータのロックを防ぎ、過電流を防ぐと共に、電源に対する負荷を軽減するためで、故障ではありません。この電源電圧が低下する原因には、同一電源での電動工具などの併用や、細過ぎる、または長過ぎる延長コードの使用などが考えられます。このような場合は、作業の能率が落ちますので上記の原因を取り除いてください。

５．異常時保護機能について

（１）本機は下記の異常時に保護機能が働き運転が止まります。

・モータ異常過熱
・制御基板の異常過熱
・異常電圧降下

⚠注意

・保護機能が働いた場合は、電源スイッチをＯＦＦにして、電源コードプラグをコンセントから抜いた後、原因と思われる下記事項を確認してください。

・他の機器と同時に使用していないか。（電圧降下）
・延長コードの長さ２０m以上、太さ３．５mm^2未満になっていないか。（電圧降下）
・冷却ファンの風窓の前に遮閉物がないか。（異常過熱）
・元電源の容量が 30A 以下になっていないか。（容量不足）
・使用雰囲気の限度を超えた環境（外気 40℃　湿度 80%）

以上確認の上、原因を取り除いてください。
本機が冷えてから、電源コードプラグをコンセントに接続し、電源スイッチをＯＮにしてください。
それでも保護機能が働く場合は、高圧洗浄機の機械的故障が考えられますので、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社営業所までご連絡ください。

使用後の取扱い

６．手動・自動切り換えスイッチについて

・本機内部には手動・自動切り換えスイッチが設けられています。このスイッチは保守・点検用スイッチです。運転を行う時は常時自動側にスイッチを倒して運転してください。手動側にスイッチを倒すと、モータドライバーの自動回路が無効になり強制的にモータを回転させます。ライフルガン噴口の異物の混入による不具合、・圧力スイッチ作動不良の不具合（泥水、異物による作動不良など）の原因を調査する時にスイッチを手動側に倒して使用してください。

※手動側で運転するとポンプが焼損することがあります。

保守・点検について

⚠注意

・高圧ポンプの潤滑油は 200 時間使用（初回は 50 時間）、または 90 日ごとに交換してください。10W-30 のエンジンオイルを使用してください。オイルレベルは常に点検して、減ったら注ぎ足してください。必要オイル量は D4、潤滑油の確認を参照してください。
・高圧ホース、付属品等が磨耗、破損、水漏れがないか点検し、異常がある場合はただちに修理交換してください。

⚠危険

・本機の点検整備調整を行う場合は、必ずモータを停止させ、圧力を抜いたのちに行ってください。

１．電装関係

（１）キャブタイヤコード、コンセント、本機制御ボックス内の端子に緩みがないか点検してください。
（２）モータ、電磁開閉器、コンセントなどが水にぬれた場合、十分に乾燥させ絶縁抵抗をチェックしてください。
（３）モータが吸湿してそうなときは絶縁抵抗が規定値以上あるかどうかチェックしてください。モータメーカでは 500V メガテスタにて 1 分間 40℃において 1MΩ以上必要です。
（４）モータ負荷時連続定格電流値より低い状態にしてください。もし高い場合はアンローダバルブにて各機種の規定圧力まで圧力を下げてください。

２．配管・付属品の点検

⚠注意

・高圧ホース、キャブタイヤコード、吸水ホース、ガンなどに磨耗、破損、水漏れがないか点検してください。水漏れがありますとインチング動作を起こしモータが起動・停止を繰り返し電磁開閉器やモータの損傷につながります。異常がある場合はただちに修理・交換してください。

定期点検項目

点検項目	時間（各時間ごとに実施）				
	作業前	50h	100h	200h	300h
【機体】					
各部の締付点検	○				
各部の水もれ点検	○				
各部のオイルもれ点検	○				
異常音、異常振動の点検	○				
ベースとカバー等の損傷、変形の点検	○				
防振ゴムの劣化、損傷、へたりの点検	○				
重要ラベル（ＰＬ）の剥がれ、汚れ、破れの点検	○				
【ホース】					
吸水、余水ホースおよびパッキンの点検	○				
ｽﾄﾚｰﾅｰ、ﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰの点検・清掃	○				
高圧ホース、カプラおよびパッキンの点検	○				
ガンの水もれ点検	○				
【配線】					
配線外被の損傷点検	○				
配線結束状態の点検	○				
配線端子のゆるみ点検	○				
【配管】					
中間ホースの点検	○				
圧力計の点検	○				
エア抜き装置の点検					●
圧力SWの点検・清掃					●
アンローダーの点検・清掃					●
【高圧ポンプ】					
オイルの点検	○				
オイルの交換		○（初回のみ）		○	
バルブの点検					●
シールの交換					●
プランジャーの点検					●
【モータ】					
絶縁抵抗の測定					●

＊上記の時間は点検の目安であり耐久時間を示したものではありません。
＊使用条件によっては表記時間より早期の点検が必要となる場合があります。
＊●は技術や専用の工具を必要としますので、お買い上げ販売店にお申しつけください。

故障診断

ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

症状	原因	対策
吸い込みにくい、又は 吸い込まない	水源の水量不足	清水を補給する。
	吸水ホースストレーナが完全に水中 に沈んでいない	ストレーナを完全に水中に沈める
	ストレーナ.ラインフィルターの 目詰まり	ストレーナ.ラインフィルターを清掃する
	吸込揚程が大きすぎる	吸込揚程を 1m 以内にする
	吸水ホースの接続不良 および O リング不良	ホース接続部を確実に締め付ける O リングの破損および脱落を確認する
	吸水ホースの損傷	ホースを交換する
	吸水・吐出バルブの作動不良または ゴミが詰まっている	※バルブを清掃、点検し、必要なら バルブを交換する
圧力が上がらない	吸水ホースのストレーナの目詰まり	ラインストレーナ、吸水ホースの ストレーナを清掃する
	吸水ホースの接続不良	ホースを確実に接続する
	吸水・吐出バルブの作動不良または ゴミが詰まっている	※バルブを清掃、点検し、必要なら バルブを交換する
	高圧、低圧シールの磨耗、損傷	※シールを交換する
	不適合なノズルガンの使用	正しいノズルガンに交換する
	ノズルチップの磨耗	※ノズルチップの交換
	圧力調整バルブの磨耗	※ローワピストンを交換する
圧力が安定しない	水源の水量不足	清水を補給する
	吸水ホースのストレーナの目詰まり	ラインストレーナ、吸水ホースの ストレーナを清掃する
	吸水ホースの接続不良	ホースを確実に接続する
	吸水・吐出バルブの作動不良または ゴミが詰まっている	※バルブを清掃、点検し、必要なら バルブを交換する

※の項目は必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申しつけください。

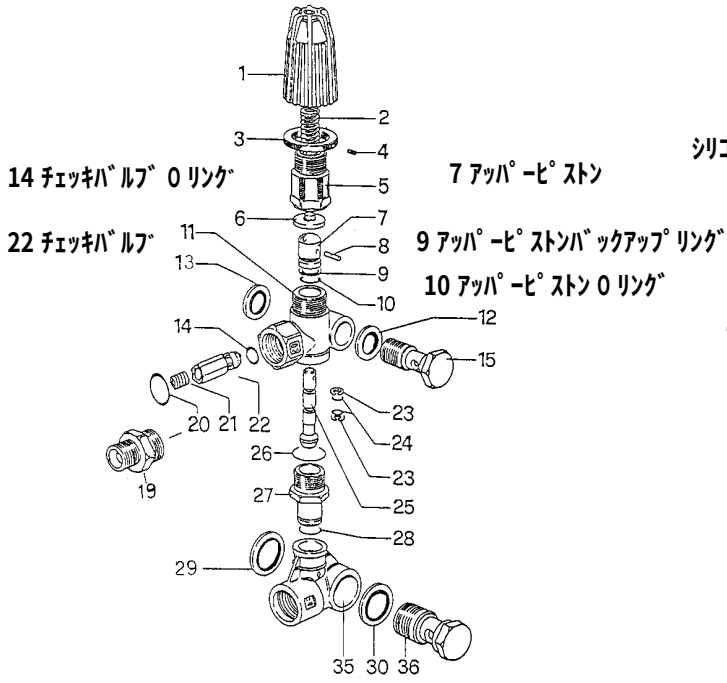
電装関係故障診断

自動運転しない場合

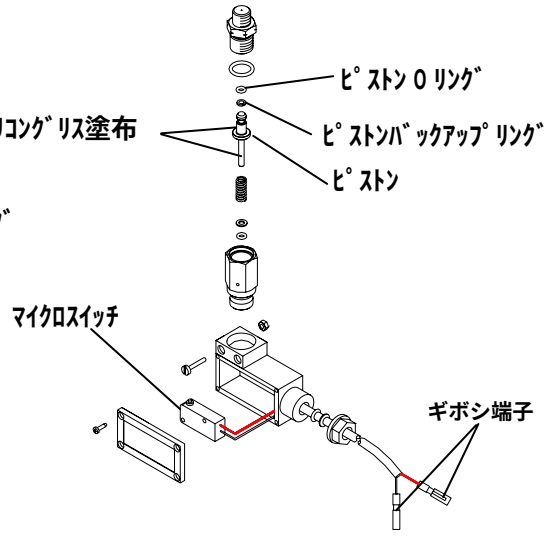
モータが回らない	吐出側の圧力スイッチの動作不良 (カバー内部スイッチを手動にし、回ることを確認する。)	※圧力スイッチの分解、清掃、交換又はマイクロスイッチの点検、交換
	ギボシ端子の接触不良	ギボシ端子に水がかかっている場合は十分に乾燥させる。 ギボシ端子が損傷している場合は交換。
モータが止まらない	ポンプ側の圧力スイッチの動作不良	※圧力スイッチの分解、清掃、交換又はマイクロスイッチの点検、交換
	ギボシ端子の接触不良	ギボシ端子に水がかかっている場合は十分に乾燥させる。 ギボシ端子が損傷している場合は交換。
	圧力調整弁(ｱﾝﾛｰﾀﾞﾊﾞﾙﾌﾞ)のチェッキバルブに傷、又はゴミが付着している。	圧力調整弁(ｱﾝﾛｰﾀﾞﾊﾞﾙﾌﾞ)の分解、清掃。 チェッキバルブに傷がある場合は交換。

※の項目は必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申しつけください。

圧力調整弁(ｱﾝﾛｰﾀﾞﾊﾞﾙﾌﾞ)



圧力スイッチ



わからない事や、故障したら

●ご使用のスーパーエース高圧洗浄機についてわからない事や故障が生じた時に、
次の事を確認の上、販売店又は、弊社までお問い合わせください。

（1）型式名と機番　　（2）ご使用状況（どんな時に）　　（3）ご使用時間
（4）故障状況（水を吸わない、圧力が上がらない、原動機が始動しない等）

無料修理規定

1.保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。(以下この無償修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不都合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2.保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内といたします。

3.保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

- **① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。**
- **② 弊社が示す使用の限度を越える使用。**
- **③ 弊社が認めていない改造又は変更。**
- **④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。**
- **⑤ 経時変化による自然変色発錆。**
- **⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)**
- **⑦ 天災・地変による損傷。**
- **⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。**
- **⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。**

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- **① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。**
- **② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。**
- **③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。**
  各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品 。

＜ご注意＞

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用の前に取扱説明書をよく読んでください。

スーパーエース高圧洗浄機
保　証　書

このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。下記記載の製品について本書記載内容（E2 ページ記載）で保証いたします。なお、この保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番		SAR-1105-3　,　SAR-0807-3
保証期間		製品引渡し日より起算し１年間
納入年月日		平成　　年　　月　　日
お客様	ご住所	
	お名前	
	電話番号	
納入店名	住所・店名 電話　　(　　)	

MEMO

MEMO

MEMO

スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所　大阪府摂津市鳥飼本町5丁目3-7
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

大阪工場　大阪府摂津市鳥飼本町2丁目2-48
〒566-0052　TEL(072)654-3990　FAX(072)653-2912

東京営業所　東京都江戸川区中央4丁目15-13
〒132-0021　TEL(03)3653-2411　FAX(03)3653-2420

名古屋営業所　愛知県名古屋市緑区野末町208
〒458-0915　TEL(052)626-3701　FAX(052)626-3702

札幌営業所　札幌市白石区菊水7条1丁目1-24
〒003-0807　TEL(011)823-3661　FAX(011)823-3666

福岡営業所　福岡県粕屋郡志免町大字別府599-3
〒811-2205　TEL(092)622-6273　FAX(092)622-6279

サービス工場　大阪府摂津市鳥飼本町5丁目1-7
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

沖縄駐在所　沖縄県那覇市首里当蔵町1-18-3
〒903-0812　TEL(098)887-0089　FAX(098)887-0089

http://www.super-ace.co.jp　E-mail:info@super-ace.co.jp